第41巻4号2017年7月1日発行（毎月1日発行）

ONE BOOK ONE LIFE 2017 7月号

掲示板

日本ライトハウス展に過去最多４３社が出展
参加型の特別ステージなど新企画も実施

西日本最大の視覚障害者用具・機器展示会「日本ライトハウス展～全国ロービジョンフェア2017」（読売光と愛の事業団共催）を９月30日（土）、10月１日（日）の２日間・10時から16時、難波御堂筋ビル７階ホール・８階大会議室（御堂筋線なんば駅「中改札」直結）で開催します。

第20回を迎える今回は、シャープの「ロボホン」（声をかけると可愛い声や動作で応えるロボット型スマートホン）や「ドットウォッチ」（４マスの点字ディスプレイ付きの腕時計型スマートウォッチ）など、初出展８社を含め、過去最大の43社が出展。目の見えない方・見えにくい方の生活を楽しく、豊かにする便利グッズや視覚補助具、点字・音声機器などを展示・一部販売。スマホやタブレットも体験していただけます。

また特別ステージでは、iPS 細胞の網膜移植手術の第一人者で、10月１日、拠点の神戸アイセンターを立ち上げる高橋政代医師や、ロービジョンケアでマルチに活躍する三宅琢（たく）医師が出演。さらに新企画としてスマホアプリのプレゼンを競う「アプリバトル」や、久しぶりの書評合戦「ビブリオバトル」なども行ないます。

当日はぜひご来場いただくとともに、お知り合いや関係者の方々への広報にご協力ください。

視覚障害者の「声かけ」アンケートにご協力を

「視覚障害者の歩行の自由と安全を考えるブルックの会」（加藤俊和代表）は、視覚障害者のホーム転落事故を防ぐため、ボランティアを対象に「声かけ」の状況を尋ねるアンケート調査を行います。同時に視覚障害者を対象に「一人歩き」の状況も調査し、両方の結果を分析して、事故を減らす方策を考えます。調査結果は10月に市内で開催するイベントでも公開します。当館も調査に協力しますので、館内でアンケートをお願いした際はよろしくお願いいたします。

７月～８月の休館日について

７月15日（土）＝振替休館のため、録音製作部門（６・７階）と貸出サービスは休館します。８階点字製作係と３階総務係、５階サービスフロア、４階会議室は開室します。

８月11日（金）～16日（水）＝夏期休館。５階サービスフロアと図書貸出は17日（木）まで休業。

『伝え方のワークショップ』などで多くの“気づき”
ボランティア友の会の「ガイド体験会」に22人

毎年恒例のボランティア友の会主催「ガイド体験会」を5月31日開催しました。この体験会は、「見えない・見えにくいってどんなこと？」を体感していただくとともに、ガイドの仕方や伝え方のポイントなど、いざという時に役立つ基本を楽しく学んでいただくことを目的に行っています。今回は資格を当館のボランティアに限定せずに募集したところ、ボランティア15人、新任職員１人のほか、一般参加の方６人を含む、合計22人もの方が参加。和気あいあいとした雰囲気の中、多彩なプログラムで多くの“気づき”を得ていただく事ができました。（サービス部　花田潤子）

アイマスクの食事体験で気づいたこと

今回、初めての試みとして行ったのが、アイマスクをしながらお弁当を食べていただく食事体験です。始まるやいなや、「アイマスクをつけて食事をしてもらいます」という職員からの声掛けに、「えぇ！？」「ちゃんと食べれるかなぁ？」と不安の声も聞こえましたが、お弁当の中身の説明を聞いた後、いざ食事がはじまると、戸惑いながらも、近くの方同士で互いに声をかけ合いながら食べられていました。

特に困ったという声が多かったのは、ソースと天つゆが同じような袋に入っていて区別がつかないこと。その他にも、味がよくわからない、つかんだおかずを一度置くと次に同じ食材をつかめない等、普段いかに視覚を使って食事をしているかを感じていただきました。

約10分後にはアイマスクを外し、自分のイメージとどう違っていたかなどを確認してもらいました。また、クロックポジション（目の前の物の位置を時計の文字盤に見立てて説明する。例えば「11時の方向に煮物」など）で説明する方法を職員からお伝えしたほか、参加者からは「バランなど装飾物や、わさびなど薬味の説明も重要だと思う」という感想も出ていました。

伝え方の難しさをワークショップで体験

続いては、短文を聞いて１つの絵を書いてもらう「伝え方のワークショップ」を行いました。

このワークショップでは、「夜空に月」という言葉を伝えて、自由に絵を描いてもらいました。すると、満月を描く人、三日月を描く人、星を描く人など。また「木にミミズク」と伝えると、枝だけの木を描く人、葉っぱのある木を描く人など各人各様で、一つの言葉から、一人一人がイメージするものが異なることを、描いてもらった絵を見ながら参加者に実感していただくことができました。普段から点訳・音訳や対面などのボランティアで活躍されている方も、「どの言葉を選ぶか、どの程度詳細に説明をするか」などを改めて考える良い機会となったようでした。

ガイドをする際に心がけてほしいポイント３点

言葉で伝える体験を行った後、最後に、伝え方の実践を兼ねて、アイマスク歩行とガイド体験を行いました。「ガイドされる側になったのは初めて」「下りの階段やエスカレーターがこんなに怖いと思わなかった」「歩いている時間も距離も、いつも以上に長く感じる」などの感想があり、いろいろな気づきを得ていただけました。

今回のガイド体験では、①情報の伝え方や考え方～具体的なイメージが作りやすい説明を心がけること、②当事者の見え方や知っている情報は人それぞれなので、一人一人にあったサポートを心がけること、③良いコミュニケーションは安心と信頼関係につながっていくこと、をいろいろな形で体験していただくようにしました。

ですが、今回の講習で視覚障害者のガイドが直ぐできるようになるわけではありません。日頃から、ぜひ当館の視覚障害職員や来館されている利用者に積極的に声をかけていただき、希望があれば手を貸していただいて、小さなところから経験を重ねていっていただけるととてもありがたく思います。

次回のガイド体験会に向けて

次回もまた、さらに内容に工夫を盛り込んだガイド体験会を行いたいと考えています。今回参加出来なかった方も、普段のボランティアの活動の中で「こんなことをやってみたい」というご希望や、「こんな時、どうやって声をかけたらいい？」「何をしたらいい？」「当事者の方はあんな時、どうしているの？」という疑問などがありましたら、ご遠慮なく当館総務係までお声がけください。次回の企画に活かすとともに、その場でお応えできることはお伝えします。

なお、体験会に参加された方全員に、当館で作成した「声かけとサポート」について簡単にまとめた携帯カードを配布しています。

来年も皆様のご参加をお待ちしています！

今回参加された皆さんの感想から

＊視覚障害の方にも、見え方に随分違いがあることがわかりました。どのようなサポートが必要なのか、お尋ねしないといけないと知りました。

＊今日は分かりやすいお話しだったので覚えていても、何度か体験しないと身に付かないかも知れないので、実際に行うことが大切だと思いました。

＊(アイマスクでの食事は)新鮮な体験でした。視覚が味にこれほど影響があるとは!!

＊足の裏の感触、におい、風、太陽を感じました。

＊手引きは本当に緊張しました。エスカレーターの下りは恐かった。ここでも伝え方の大事さを痛感しました。それでも今回なんとかできたのは、パートナーを信頼しきっていたからだと思います。コミュニケーションの大事さを痛感しました。

手話、点字、音声等が利用しやすい社会を築くために
明石市の「手話言語・障害者コミュニケーション条例」に学ぶ

６月１日、当館で開かれた近畿視情協の今年度総会で、明石市福祉局生活支援室共生福祉担当課長・金 政玉(きむ じょんおく)氏による講演「手話言語・障害者コミュニケーション条例等、明石市における障害者差別解消法の理念を実現するための取り組み」が行われました。全国の自治体で「手話言語条例」の制定が進む中、明石市では2015年、手話だけでなく、点字や音声も含むさまざまな障害に応じたコミュニケーション手段を社会に広めるための条例が制定されました。その画期的な条例の内容を、講演をもとにご紹介します。　　(総務部　松井友美恵)

手話言語・障害者コミュニケーション条例とは

正式名称は、「手話言語を確立するとともに要約筆記・点字・音訳等障害者のコミュニケーション手段の利用を促進する条例」。障害の特性に応じたコミュニケーション手段を利用しやすい環境を築くことにより、障害のある人もない人も分け隔てられることなく理解し合い、お互いに一人ひとりの尊厳を大切にし合う共生のまちづくりの推進を目的として明石市が制定し、2015年4月から施行されました。

制定の経緯～「障害者権利条約」が土台

2006年に「障害者の権利に関する条約」が国連で採択され(日本での批准は2014年)、これに基づいて「(改正)障害者基本法」が2011年に施行されました。これが契機となり自治体での条例制定の取り組みが始まりました。特に「権利条約」の第２条における「定義」(※以下に引用)が「手話言語・障害者コミュニケーション条例」の基本理念となっています。

※「障害者の権利に関する条約」第2条「定義」

この条約の適用上、「意思疎通」とは、言語、文字の表示、点字、触覚を使った意思疎通、拡大文字、利用しやすいマルチメディア並びに筆記、音声、平易な言葉、朗読その他の補助的及び代替的な意思疎通の形態、手段及び様式(利用しやすい情報通信機器を含む。) をいう。「言語」とは、音声言語及び手話その他の形態の非音声言語を いう。

条例の特徴～多様なコミュニケーションの促進

(１)手話言語の確立とともに、多様なコミュニケーション手段の促進について規定

手話を言語として認め、手話の普及と利用促進を目指す「手話言語条例」の内容に加え、情報提供・コミュニケーション支援が必要な障害者の情報保障や多様なコミュニケーション(要約筆記、点字、音訳、盲ろう者、知的障害、発達障害、代用音声、重度障害者)手段の利用促進を目指す「情報コミュニケーション条例」の内容を規定した２本立ての条例になっています。

(２)障害者の差別解消に向けた検討への連携

この条例を障害者差別の解消に向けた施策の一環として位置づけ、この条例をステップとして、2016年４月、「障害者差別解消法」と同時に新たな条例「障害者配慮条例」を制定されました。

コミュニケーション条例施行に伴う主な施策

＊視覚障害者の日常生活用具として、災害情報への迅速なアクセス用に地デジラジオを給付

＊点字プリンターを導入し、点字を希望する視覚障害者に市政情報等を提供する。

＊市立図書館に拡大読書機、録音図書再生機等を配備し、読書しやすい環境作りを推進する。

＊災害時避難情報等を、既存のハザードマップの音訳版を基に可能な限り点訳する。

◆「障害者配慮条例」に基づく助成制度

商業者や自治体など地域の団体、サークルなどの民間団体が障害のある人に必要な「合理的配慮」を提供するためにかかる費用を助成。(例)「点字メニュー」「チラシの音訳」などコミュニケションツールの作成に上限５万円を助成。

◆金政玉(きむ じょんおく)氏プロフィール
DPI 日本会議(障害者の権利擁護と社会参加の機会平等を目的に活動する国際 NGO)事務局の元スタッフ。内閣府障がい者制度改革推進会議事務局に出向し、日本における障害者権利条約の批准作業に従事した後、明石市の障害者施策スタッフ(行政実務経験のある障害者)の公募に応えて、2014年５月から現職に就任。

この「感謝報告」欄は、当センターの事業にご協力いただいた方々のお名前と内容を感謝を込めてご紹介するものです。本号では2017年５月分を掲載いたします。大勢の皆様のお名前と幅広い活動内容を限られた誌面に収めるため、見にくい編集や掲載順の一部変更、敬称の省略等をどうかお許しください。

♣ 点 字 製 作 ♣

５月分完成点字図書

15タイトル48冊(書名、編著者、冊数、点訳者、校正者)

JRニュース2017年6月号 3冊
点・校:金曜日グループ

お墓の大問題(吉川美津子)
3冊　点:瀧田愛子
校:G校正　校:橋詰玲子

人工知能は私たちの生活をどう変えるのか(水野操) 3冊
点:高橋淳子　校:G校正
校:平野 健

短歌サロン「金平糖」113号 1冊
点:待田敏彦　校:若林安也子

チューブ生姜適量ではなくて１cmがいい人の理系の料理(五藤隆介) 2冊
点:平林隆雄　校:G校正
校:篠原苑子

ドクター・ホームズの診療所事件簿(増村道雄) 3冊
点:井上眉美　校:G校正
校:平野 健

図書館ねこベイカー&テイラー
（ジャン・ラウチ他）5冊
点:井上重子　校:G校正
校:橋詰玲子
盗まれた廃墟(巽孝之) 4冊
点:橋本和代　校:G校正
校:平野 健
寝たままできるキセキの「のび体操」(佐伯武士) 2冊
点:古本扶美子
校:中川春美　篠原苑子
破婚(及川眠子) 3冊
点:雪岡加奈子　校:G校正
校:橋詰玲子
薔薇の輪(クリスチアナ・ブランド)
5冊　点:岩田幸代
校:大西裕子　橋詰玲子
マイ・ヴィンテージ・ハロウィン
(マリオン・ポール他) 2冊
点:南 佳奈　校:G校正
校:平野 健
森の贈り物(深井せつ子) 1冊
点:田中真理子　校:G校正
校:八木光子
リスクを取らないリスク
(堀古英司) 4冊
点:塚本紀子　校:辻 志津江
「あなたの体は9割が細菌」
(アランナ・コリン) 7冊
点:丸山順介　校:G校正
校:宗像真李子

♠ 録 音 製 作 ♠

５月分完成録音図書

22タイトル(書名、編著者、録音時間、音訳者、校正者、編集者)

HARD THINGS(ベン・ホロウィッツ)
12:44　音:坂口幸子
校:金井典子　編:植田美穂子
アルファベットで引く６か国語音楽用語辞典(久保田慶一) 16:08
音:志水節子　校:松浦洋子
伊東晴子　西和田惠子
編:西田芳美
怒りに負ける人怒りを生かす人
(安藤俊介) 3:35
音:那須由美子　校:米谷治子
坂口幸子　編:阪口雅代
いつか終わる曲(加藤千恵) 6:32
音:川勝美佐子　校:八十嶋敦子
土井賀津子　編:山崎千代子
宇宙を目指して海を渡る
(小野雅裕) 7:47
音:岡 香代子　校:谷澤耀子
中澤康子　植田美穂子
編:浅野雅子　八田芙未子
大阪の注目20社(米田真理子)
8:25 音:鬼頭順子
校:大西祥子　編:本村英子
かみさま新聞、恋結び？
(霧友正規) 7:04
音:上月直子　校:辻野玲子
山下富代　編:下山とよみ
心のケアとコミュニケーション
(柏木哲夫) 3:08
音:栗本慶子　校:桃井輝子
松浦洋子　木村純子
編:山口孝代
最新新幹線事情(梅原淳) 13:35
音:浜本裕子　校:下山とよみ
八田芙未子　編:浅野雅子
立川談志遺言大全集９(立川談志) 9:21　音:有末 道
校:鈴木栄子　辻野玲子
町田美樹子　編:荒木良子
小さな町のスケッチ(杉みき子)
4:46　音:郡 薫　校:小山久子
辻野玲子　編:夛田禮子
なぜ関西のローカル大学「近大」が、志願者数日本一になったのか
(山下柚実) 6:52　音:小西君子
校:久保洋子　編:佐藤圭子
脳からストレスを消す食事
(武田英二) 10:54
音:右藤惠子　校:三原順子
岡 香代子　伊東晴子
編:下山とよみ
八月の光・あとかた(朽木祥)
5:14　音:鈴木ますみ
校:増木純子　北川温子
編:羽淵雅子
万国菓子舗お気に召すまま
(溝口智子) 7:30　音:上月直子
校:下山とよみ　辻野玲子
編:若槻敬子
不登校になったら最初に読む本
(小林高子) 5:52　音:白石里佳
校:山田喜志子　前田元子
プロのフィギュア観戦術
(鈴木明子) 5:47 音:柳本絹子
校:矢切素子　上田道子
金井典子　編:吉川順子
ぼくの花森安治(二井康雄) 3:25
音:胸永幸子　校:竹下正子
上田道子　荒木良子
編:濵 欣子
ボクシングガールズ(沢田文)
6:45 音:阪本由美子
校:橋本万里　本村英子
編:山口孝代
もしも人生を２回送ることができたなら？(はらいかわてつや) 4:45
音:土井賀津子　校:阪越紀子
伊東晴子 編:辻野玲子
モデル探偵事件録(カリーナ・アクセルソン) 12:32
音:前田綾子
校:伊志峰和代　鈴木惠子
植田美穂子　編:濵 欣子
妖怪文化入門(小松和彦) 9:26
音:澤田和代　校:吉田典子
辻野玲子　編:本村英子

♥ プライベート製作 ♥

録音図書

大伴昌司エッセンシャル（大伴昌司) 13:02
音:胸永幸子 竹下正子
職業としての学問(マックス・ウェーバー) 2:54
音:志水節子　校:松浦洋子
図解理学療法技術ガイド
(細田多穂 他) 57:13
音:髙橋由紀江　編:髙橋由紀江
溺愛２下(映画館) 6:40
音・編:音訳の会碧

ねじれとゆがみ(別所愉庵) 10:13
音・編:坪田捷子
ルート２４６２(藤村いずみ)
10:58 音:飯村紀子
校:東 佳子 編:植田美穂子

点字図書

海外自転車ひとり旅シリーズ４
(高群哲夫) 4冊
点:中村道子 校:G校正
活路は共闘にあり(五十嵐仁)
2冊 点:井上眉美 校:G校正
ジョイフルワーク 英語１年
2冊 点・校:有光美穂
坂和員子 杉島貴子
中学体育実技(佐伯年詩雄) 2冊
点:河村牧子 校:木村寿子
中國料理 陽貴 メニュー一覧
1冊 点:鴻上真理 校:G校正
積み上げ国語 １年(１学期分) 2冊
点・校:林 さゆり 藤井恵美子
PINK BELT(Gracie Jiu-Jitsu Academy) 1冊
点:塚本紀子 校:池田園子

◆ 定 期 刊 行 物 ◆

『ONE BOOK ONE LIFE』

2017年6月号発送: 西垣泰子
藤原静江 松永壮兒 山田一弘

『英語よもやま通信』

デイジー版2017年6月号 2:42
音・校・編:情報文化センター
「英語チーム」
伊東晴子 奥田美穂 志水節子
辻本紀枝 中島 睦 西和田惠子
西田芳美 松浦洋子 山本 香
山崎千代子 脇本登志子

『子供の科学』

デイジー版 2017年4月号 3:05
音・校・編:グループ汐(ゆうしお)
井駒多津子 岸田素子 吉川弘美
澤田美那子 夛田禮子 田中英子
土井明美 南浦京子 吉田 薫

『サイエンスかわら版』

デイジー版 2017年4月号 3:59
音・校・編:情報文化センター「理数チーム」
河原眞知子 木村純子 夛田禮子
溝渕久美子 寺田美枝子
濵名あきよ 横山時子

『読書』2017年6月号
デイジー版 1:17
音:寺下千秋
発送:板波キミ 並木昌子
宮崎ナオヨ 宮野興子

『お役立ち目録 2017年6月号 ～おもてなし～』

デイジー版 0:10
音:寺下千秋

『週刊新潮』デイジー版
2017年4月20日号 10:14
岩谷友子 太田貴子 大山節子
越智真弓子 帰村千恵 清水百世
北村優美子 髙久俊子 田渕浩子
新熊美衛子 成田由起 中本和代
詫摩多美子 西村道子 直場徳宥
西本美加子 橋本明子 古川敏子
西山トシ子 星子鐵郎 前田元子
増尾敏子 松原和子 三原富枝
柳内登喜子 山下 豊 大和澄子
編集 古跡眞知子

2017年4月27日号 9:55
岩田真智子 大島幸枝 大森恵子
岡﨑節子 奥 幸子 上村裕子
川添美智子 小池雅子 小西君子
川端砂代子 姜 貞眞 佐藤圭子
北山真知子 佐藤公平 佐藤保子
澤井 稔 沢田玲子 柴田智美
嶋林茂子 関田通子 武市敦子
竹田光子 立上敦子 玉置明美
塚本和江 坪田捷子 中地淳子
中村京子 西岡千代子 橋村惠子
羽淵雅子 濵 洋一 兵頭 賢一
平田惠美子 前田元子 松浦洋子
平田みどり 横山栄子 吉田典子
弘津千加子 和田啓子 吉永英子
真見奈津子
編集 古跡眞知子

2017年5月4日・11日
ゴールデンウイーク特大号 11:05
井尻府三重 乾 郁子 今岡松代
上原多美子 大橋恵子 岡村勝彦
奥田和美 柏木和子 加藤紀美子
上田啓子 河原眞知子 木村加代
斉藤良子 坂口幸子 阪本由美子
正田潤子 鈴木恵子 竹村京子
中村千賀子 中村直美 中本和代
野村美穂子 畑中法子 久富恭子
兵頭つね子 深津綾子 福井和子
福田佳代 向髙寿子 山本スズ子
編集 中本和代

2017年5月18日菖蒲月増大号 11:26
天江美佐子 池田和子 帰村千恵
太田貴子 大山節子 越智真弓子
北村優美子 沢田玲子 清水百世
新熊美衛子 髙久俊子 成田由起
西村道子 詫摩多美子 直場徳宥
西本美加子 橋本明子 藤澤元子
星子鐵郎 前田元子 増尾敏子
西山トシ子 松原和子 山下 豊
和田文子 柳内登喜子
編集 中本和代

新潮音訳協力グループ:
八幡市民図書館朗読ボランティア
サークルよむよむ
奈良県視覚障害者福祉センター
「草笛会」
グループN-BUN、デイジー大阪

『日経パソコン』

デイジー版2017年5月号 5:05
音・校・編:情報文化センター
石井那智子 小倉玲子 片岡珠子
桂 公子 金井典子 川端真知子
北川温子 木村純子 小林幸子
小森佳津子 坂口幸子 佐山敦子
阪本由美子 竹田佳代 夛田禮子
佐々木マス子 寺下千秋 三上 菊
下山とよみ 西田芳美 西村郁子
二宮真理 橋本万里 浜本裕子
福島博子 前田元子 松浦洋子
目連雅子 山見順子 横山時子

☆ 電子書籍 ☆

～一ツ橋綜合財団助成事業～
マルチメディアデイジー図書をはじめとする当館の電子書籍は、公益財団法人一ツ橋綜合財団のご助成により製作されています。

◆マルチメディアDAISY図書

少年探偵16　魔人ゴング
　画像:足立佐紀子
　DAISY・音(TTS)編集:吉田典子

◆テキストDAISY図書

MONTHLY“日本一”明るい経済
　新聞５月号
　ﾃｷｽﾄ化・DAISY編集:高階秀男
ちくま文学の森５　思いがけない話
　ﾃｷｽﾄ校正・DAISY編集:笠松幸彦

✎ 音 声 解 説 ✍

◆ボイスぷらす

釣りバカ日誌15
　解説ﾅﾚｰｼｮﾝ:廣野美代子
　台本・編集:勝又悦子 北川富美代
　廣野美代子
６／４　演劇
「語り部たちの夜～空～」
　台本作成・ﾅﾚｰｼｮﾝ:那須由美子

❦ 館内お手伝い ❦

電子書籍

池尻三千子　西村佐世子

情報システム

森田敏子

整理・情報サービス

板波キミ　板谷照美　日下清香
鱗星千恵子

図書・情報サービス

足立宣美　飯村康志　板波キミ
板谷照美　小椋美智子　片岡忠克
木畑紀子　木村謹治　帰村千恵
小寺高子　小林弘子　清水美枝子
武部はつ子　当房公子　野間絹子
逸見恵子　宮嶋昌代　森本益子
渡邊洋子　若槻敬子
リノズ・マハルジャン
[茨木市バラの会]
片倉康子　堂 晴美　永崎利恵

◆ ５月の貸出実績

点字　194tl
デイジー3388tl テープ 48tl

★５月の人気貸出図書★
（当館製作図書。順不同。）
【点字図書】
朝起きられない人のねむり学
（神山潤）
井伊直虎(小和田哲男)
健康診断の検査値がとことん
わかる事典(西崎統)
合理的配慮、差別的取扱いとは
何か(ＤＰＩ日本会議)
【録音図書】
落ちぶれ同心と将軍さま［７］
（藤村与一郎）
関西グルメ王の人生が変わる店
（シャンプーハットてつじ）
ここで負けてしまってごめんな
（岩崎夏海）
日本人にとって聖なるものとは
何か(上野誠)

❣ 対面リーディング ❣

青木幹雄　秋本直美　兄井寿美子
池本滋子　伊東晴子　犬塚敬彦
上ノ山禎子　後 恵子　内山扶美代
江口不二子　大島幸子　大村登子
大森恵子　荻野珠紀　奥井秀子
金井典子　片山紀子　古賀和子
河上千鶴　木村 純子　黒瀬勝司
小杉洋子　桂 公子　小林万智子
小山妙美　佐藤保子　首藤博子
角野和子　津村香順　常盤知子
中本由美　奈良典子　直場徳宥
畠田幹子　林 久利　平田みどり
福地京子　澤井 稔　弘津千加子
細井昌子　本荘一子　二子石知恵
前田芳野　前田元子　待田敏彦
松谷富子　松原和子　町田美樹子
真野祥子　向井民子　横山栄子
森田 陞　八十嶋敦子　山崎 彰
米田るみ子
５月　利用者12人・55件
　　ボランティア55人

✉ パソコンサポート ✉
（ボイスネット）

【５月実績】
例会:石川昌宏　伊藤 勇
　木村朱美　栗谷博子
　村上栄一　政所 章
訪問:辻岡恵子　坂上照子
HP更新:中条正信
週報:和田眞由美

❋ ご 寄 附 ❋

松井順子　森 明彦　山口孝代
湯川欣晃　吉富順子
鈴木絹子(眼科医故鈴木一三九様の
　御遺志として)
　(敬称略をご容赦下さい)

遠藤敬子さんが朗読録音・地区表彰受賞

公益財団法人鉄道弘済会の今年度第47回朗読録音奉仕者・西日本地区表彰を当館ボランティアの遠藤敬子さんが受賞されました。当館で30年･1,777時間･188タイトル(専門書75タイトル)に及ぶ音訳録音活動が評価されたものです。遠藤さんは早川福祉会館点字図書室でも長年に亘り音訳と指導を続けて下さっており、お祝いとともに感謝を申し上げたいと思います。授賞式は９月15日、グランヴィア大阪で開かれます。

視覚障害リハ大会が川崎市で開催

視覚障害リハビリテーション協会の今年度研究発表大会が６月９日～11日、川崎市で開かれ、当館の岡田部長と久保田部長が参加しました。久保田は「口頭発表」で「視覚障害児童生徒が点字・拡大教科書と併用するための『音訳教材』に関する研究」を発表し、教科書の視覚的資料の音訳データを蓄積するデータベースの構築と専門音訳者の養成・ネットワーク化の必要性を訴え、参加者の関心を集めました。

肥後橋交差点にエスコートゾーンが新設

当館北側の肥後橋交差点の横断歩道にエスコートゾーンが新設されました。エスコートゾーンとは、横断歩道上に点字ブロックのような凸凹を施し、視覚障害者を誘導するもので、府内ではまだ数ヶ所しかありません。敷設場所は、肥後橋駅２号出口の右斜め前から、四ツ橋筋の西側を北へ渡り、肥後橋交差点北西角の歩道までです。これは肥後橋交差点が特殊な五叉路のため、視覚障害者は方向の把握が困難で、渡りにくいという問題に基づき３年余を経て実現したものです。ただし、この横断歩道の北側は左右に広がっており、音響信号がエスコートゾーンの北端でなく、左斜め前方の土佐堀通り北側(アパホテル前)から鳴っているため、エスコートゾーンに沿った音響信号の整備をお願いしいるところです。皆さんも実際に歩いてみて体験してください。

あ ゆ み

【６月】

１日　近畿視情協総会(金政(きむじょんおく)玉氏講演会)
３日　日本点字委員会総会･研究会(～４日)
８日　専門音訳〈視覚的資料〉講習会開講
９日　視覚障害リハビリテーション研究発表大会(11日、川崎市、岡田、久保田)
15日　全視情協総会･研修会(～16日、東京、竹下)
22日　全国盲人福祉施設大会(～23日、岐阜、竹下)
24日　中央区バリアフリー上映会「あん」＆河瀬監督トークショー(林田、松井)
28日　わろう座映画体験会「釣りバカ日誌15」

予　定

【７月】

６日　ボランティア友の会世話人会
８日　オープンデー(館内見学日、要予約)
14日　専門点訳〈教科書･教材〉講習会開講
19日　全視情協シネマ･デイジー製作研修会(～20日、福岡市、林田)
30日　日本ライトハウス職員全体研修会

編集後記　急に気温が上がり、炭酸水が好きな私は最近、常飲しています。最初は500mLを１本ずつ買っていたのですが、自宅で飲む分が足りなくなるので、ついに箱買いすることにしました。しかし500mLではすぐ無くなってしまうので、自宅用は１L、出先用は500mLにして、それぞれ箱買いしています。「これで一安心♪」と喜びも束の間、おかげでキッチンはペットボトルだらけ！……新たな悩みが出てきました。今は自宅でも炭酸水が作れる炭酸水メーカーなる物の購入を検討中です。(ま２)

ONE BOOK ONE LIFE(ワン ブック ワン ライフ) 2017年７月号
発　行　社会福祉法人日本ライトハウス
情報文化センター(館長 竹下 亘)
住　所　大阪市西区江戸堀1-13-2(〒550-0002)
TEL 06-6441-0015　FAX 06-6441-0095
E-mail info@iccb.jp
表紙絵　武部はつ子
発行日　2017年７月１日
定　価　1部100円　年間購読料1,000円